

## 評価シートの記入方法

### (1) 評価の実施対象

この評価シートは、経営者を対象にその企業の現状を評価し、目標をコミットしていただくものです。しかし、担当部署しか把握していないような詳細な数字を記入する欄もかなりありますので、各担当部署に作業を依頼していただいて結構です。ただし、最終的な回答内容については、経営者ご自身が目を通され、自らコミットできる内容であることをご確認ください。また、「II：コーポレート・ガバナンス (CG)」については、できるだけ経営者ご本人が記入されることを推奨します。

### (2) 評価基準の構成

評価基準は、大きく合計5分野（市場、環境、人間、社会、コーポレート・ガバナンス）にわたる110項目から構成されており、下記のとおり分類されています。

1. 市場	1-a. 仕組み	(現状評価)	15
	1-b. 成果	(現状評価と目標設定)	9
2. 環境	2-a. 仕組み	(現状評価)	11
	2-b. 成果	(現状評価と目標設定)	10
3. 人間	3-a. 仕組み	(現状評価)	11
	3-b. 成果	(現状評価と目標設定)	11
4. 社会	4-a. 仕組み	(現状評価)	10
	4-b. 成果	(現状評価と目標設定)	6
1. 理念とリーダーシップ			(現状評価) 6
2. マネジメント体制			(現状評価) 9
3. コンプライアンス			(現状評価) 8
4. ディスクロージャーとコミュニケーション			(現状評価) 4

### (3) 現状評価

「I：企業の社会的責任 (CSR)」の「仕組み」、および「II：コーポレート・ガバナンス (CG)」については、現状評価を行います。概ね以下のような3段階評価になっていますので、最もふさわしい選択肢を1つ選択して下さい。

また、「2」を選択した場合には、その具体的内容を簡潔にご記入下さい（企業秘密に属する場合には結構です）。これは、より優れた取り組みを評価することを目的にしたものです。回答データの収集・分析の過程で、（評価委員会の設置等によって）特に優れていると思われる独自の取り組みを抽出し、加点点評価していくことも想定しています。